

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789 「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

まんすりー 全旅連情報

発行日:平成25年11月1日

定 価:150円

発行人:清澤正人

印 刷:山陽印刷株式会社

全旅連青年部臨時総会開催	1	第16回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介	4
NHK受信料対策委、片山さつき参議院議員との意見交換会／全旅連女性経営者の会(JKK)定例会議開催／ネット対策・広報委員会／シルバースターキャンペーン 省庁便り	2 3	全旅連青年部広報室	5
		災害対策は優先順位を決める事から始まる	6
		全旅連関係会議開催／経営ワンポイントアドバイス	7
		全旅連協定商社会名簿	8

全旅連青年部臨時総会開催

青年部の全国大会開催地は京都府に決定 「固定資産評価の見直し」で陳情も

全旅連青年部(山口敦史部長)は9月25日、東京・千代田区の都道府県会館で臨時総会を開き、来年秋開催される第22回全国大会は京都府を開催地とすることを全会一致で可決・承認した。京都府での開催は初めてとなる。また、全国の青年部員らによる固定資産評価の見直しについての陳情活動も実施された。これには全旅連の正副会長や県組合の理事長らも参加して、それぞれに分かれて青年部員らと共に地元選出の自民党議員に陳情を行った。

唯一の議事となった全国大会開催地の選定では、今回は、開催立候補地は京都府のみとなった。候補地プレゼンテーションでは、京都観光等の映像紹介のあと、幾世英磨・京都府部長が「近畿ブロックが一丸となる全国大会を目指すなかで、世界における『RYOKAN』、日本における『旅館』の発信に努めたい」と全国大会への想いを披露しながら、「日本を代表する観光地である京都から宿文化の原点を学び、次代に伝える礎となる大会、あらゆる伝統文化が集約された京都から宿の未来を創造できる大会、そして出向者のみでなく全国の部員にとって魅力のある大会となることを目途としている」と述べ、「京都ならではのおもてなしの心で歓迎したい」と情熱を込めて語った。また、「京都府での大会のサブテーマは『～都プロジェクト in 京都』としたが、これは、この京都大会で学んでいたことを持ち帰ってもらい、それぞれの地域が都のように発展してもらおうという願いを込めている」と語り理解と協力を求めた。全国大会の開催会場は「みやこめっせ京都市勧業会館」(収容人数4000人)。来年10月初旬の開催を予定している。

臨時総会には、自民党観光産業振興議員連盟の細田会長も来賓として駆け付け、「業界は今、深刻な問



左から臨時総会であいさつする山口部長。「固定資産評価の見直しなど諸問題に係る法案の動きで業界の将来が変わる」と述べる佐藤会長。細田観議連会長



右、陳情説明での全旅連正副会長と理事長。左、京都府青年部のプレゼンテーション



左から議員事務所陳情する青年部員(長野県のみなさん)。衆参両院の議員会館に向かう宮城県、鳥取県の理事長と青年部員ら

題を抱えているが、観議連も問題解決に向かって鋭意努力している」と述べ、また、観光の振興では「創意工夫をもって地域おこし、観光おこしに努めてほしい」と呼びかけた。臨時総会に先立って行われた「固定資産評価の見直し」での陳情では、佐藤会長も詳細に陳情内容について語り、「これらの問題に係る法案の動向は業界の将来に大きく関わってくるものである」と述べ、「強く実情を訴えてほしい」と要望した。

臨時総会では第2回県部長サミットも実施された。香港EGLツアーズの袁社長による「聞けばわかる香港からの誘客」では、香港人旅行客の特長や日本と香港との生活習慣の違いなどを通して見られるインバウンドにおける注意点、また、総務広報委員会・組織 Japan 委員会が担当した「災害支援ネットワークについて」では、災害が発生した場合に災害の情報伝達と支援について必要な事項を定めることを目的とした災害対策規定案についての講話がそれぞれ行われた。

NHK受信料対策委、片山さつき参議院議員迎え意見交換会開催



NHK受信料対策委員会は片山さつき前総務大臣政務官との意見交換を行った。片山議員ははじめに観光業界に係る数々の情報を「プロジェクト」を使って説明したあと、「受信料問題は『全体』での取り組みを」と提言

全旅連のNHK受信料対策委員会(佐藤勘三郎委員長)は10月15日、本年度の第2回目の会議を全旅連会議室で開き、NHK受信料体系の見直しにつ



いて討議したほか、片山さつき自由民主党観光産業振興議員連盟・参議院議員との意見交換会を行った。NHK問題では、NHK会長への要望書(案)について協議し、「旅館・ホテル等のNHK受信料については、英国放送協会(BBC)と同様、最初の15台までは1契約としてください」とした要望を今後も継続していくことを確認した。「事業所の場合、設置場所ごとの契約となるため、旅館ホテルでは客室ごとの契約が課せられ、この負担は大変重く、経営を圧迫している」また、「BBCと比較しても15台1契約した場合、NHK対BBCで8倍の格差が生じている」ことなどを強調していくが、今後もしっかりと理論武装という陣立てについても検討していく方針だ。

片山議員を迎えてのNHK受信料問題では、委員会からは、「NHKには、これまでにBBC方式による受信料の見直しを要望しているが、NHK側からは、そうした新体系の適用をホテル旅館のみに限定する理由は立てにくいとの回答を得ている。また、15台1契約とした場合、受信料収入の減少が見込まれることなどから、NHK側は、理解を示しているものの次のステップに進むことができない状況にある」と説明した。

全旅連女性経営者の会(JKK)定例会議開催

全旅連女性経営者の会(北川雅代会長)は、10月8日、長野県・上田市にて第2回定例会議を開催した。

各委員会の活動報告の他、太田幸江氏【全旅連事業サービス(株)】による旅館賠償責任保険に関するケーススタディーや、湯本英里会員(湯本旅館・長野)による「乳がんになってしまって・・・人は病気になるんだ・・・でも???」と題した「会員による役立つ講座」を行った。9日には斎藤ホテルにて斎藤育子会員【(株)やそうた】が「施設管理」について講演を行った。第3回定例会議は、山形県上山温泉にて1月に開催予定。

これに対し、片山議員は、「同問題については『NHK』対『業界』という図式ではなく、『全体での取り組み』も考えられる。観光政策上で中小規模の旅館ホテルの振興を考えていくということ。観光立国推進基本計画では訪日外国人数の目標では、2020年までに2500万人が揚げられている。それには大きなホテルだけでは迎え入れることは不可能であり、観光振興策としては中小の旅館ホテルが重要な担い手となる。そのための支援策として業界の要望(BBC方式の導入)を実現させてもらうということも考えられるのではないか。」さらには、「世界的に今、日本型の『旅館』は大きく注目されている。それはバックパッカーのみではなく他の多くの人にも人気がある。その意味では、国交省、観光庁、総務省、そして、地方自治体と連携した『ディスカバー旅館ホテル』や『旅館ホテルの経営形態を考える会』『旅館ホテルのおもてなしを守る会』などと言った名目の会を設立し、その中での一問題としてNHK問題を取り上げるというスキルも考えられる」と語った。委員会では、今後のNHKとの話し合いには、片山議員を中心に、関係諸官庁を交えた会議の開催も検討していくとしている。

ネット対策・広報委員会開催

ネット対策・広報委員会(佐久間克文委員長)は、9月26日に3回目の委員会を、10月1日には佐藤会長も参加し4回目の委員会を開催し、楽天トラベル(株)との協議会にて説明を受けた楽天アフィリエイト報酬の施設課金への対応を協議し、今回の件の反応を調査するためにアンケートの実施を決めた。10月16日には楽天トラベルとの協議会を開催し、アフィリエイト導入などに伴う基本規約の変更について説明を受けたが、アンケート結果(約1800件回収)を見ても導入への反感が強いため、後日、導入撤回を求める要望書を提出した。

「人に優しい宿」キーワードキャンペーン スタート!!

全旅連シルバースター部会では、部会公式サイト「人に優しい宿」に掲載のキーワードとアンケートに答えると、全旅連オリジナル「ハローキティ」スクエアミニバッグがもらえる「人に優しい宿」キーワードキャンペーンを実施します(11月1日～2014年2月28日)。



国土交通省

耐震対策緊急促進事業補助金交付申請受付開始

改正耐震改修促進法に係る政令が10月9日公布されたことを受け、耐震診断の義務付け対象となる建築物に対する耐震対策緊急促進事業の補助金交付申請受付が開始された。地方公共団体において補助制度が整備されている場合には、各地方公共団体に問合せを。

地方公共団体における補助制度が整備されていない場合は、国が単独で補助を実施する。

詳しくは、「耐震対策緊急促進事業実施支援室」のウェブサイトに掲載。

<http://www.taishin-shien.jp/>

観光庁、オリンピック・パラリンピックで情報提供

10月16日、観光関連業界向けに「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に関する観光関係連絡会」が開催された。観光庁観光戦略課長からは、訪日外国人受入環境の整備として、多言語対応やWi-Fi使用環境の整備、宿泊施設の充実・多様化、東京だけでなく地方への観光などが取り組むべき課題としてあげられた。オリンピックを景気とした訪日プロモーションの実施によるとともに、東京だけでなく地方への外客誘致も取り組むべき課題としてあげられた。オリンピック開催を契機とし、インバウンド政策の強化を図る考えだ。

中小企業支援機関のネットワークが経営者の相談に対応

中小企業庁が進めてきた「中小企業支援ネットワーク強化事業」は、平成24年度末をもって終了し、平成25年度からは「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」となった。制度変更によって、ITシステムに専門家のデータベースを構築し、中小企業・小規模事業者と専門家の適切なマッチングを行い、スムーズな派遣を行えるようになり、事業者が抱える経営課題が複雑化、高度化、専門化する中で、相談ニーズにきめ細かく対応できる支援体制が整った。

本事業では、中小企業・小規模事業者・創業希望者のもとへ、経験豊富な専門家が訪問し、様々な経営課題に関してアドバイスを行っている。専門家派遣は年3回まで無料で利用できる。

専門家派遣の流れは①ミラサポで会員登録を行う②ミラサポで専門家を探す③ミラサポで専門家派遣を申し込む—という3つのステップを踏む。「ミラサポ」とは中小企業庁が中小企業・小規模事業者の未来をサポートするために開設したサイト。国や公共機関の支援策・支援情報をわかりやすく提供している。情報提供の窓口は2つあり、経営の悩みに対する専門家や先輩経営者による生きたアドバイスを知りたい事業者は「ミラサポNEWS」に、国や公共機関の支援情報・支援施策をテーマ別／施策種類別で簡単に入手したい事業者は「施策ポータル」にアクセスする。ユーザーが自らの課題に応じて、新たなコミュニティを作ることもできるので、ぜひ同サイトを活用したい。

ミラサポ未来の企業★応援サイト

URL: <https://www.mirasapo.jp/>

職場での受動喫煙防止対策 喫煙室の設置費用の一部を助成

厚生労働省は、今年5月16日から、職場における受動喫煙防止対策をより効果的に推進するため、助成金制度を改正した。

同省では労働者の健康を確保するため、平成23年10月、受動喫煙を防止するための助成金制度を開始した。この制度は、旅館業、料理店、飲食店を営む中小企業主を対象に、職場での受動喫煙を防止するため、喫煙室の設置などを行う際に利用されてきたが、このほど、より一層、対策を進めていくために助成金制度を改正することになった。

制度の主な変更点は、①対象事業主をすべての業種の中小企業事業主に拡大②補助率を1/4から1/2に引き上げ(上限200万円)③交付の対象喫煙室の設置費用のみに限定—となっている。

対象となる事業主については、サービス業の場合①労働者災害補償保険の適用事業主であること②常時雇用する労働者数が100人以下、資本金5,000万円以下であること③一定の基準(喫煙室の入口において、喫煙室内に向かう風速が0.2m/s以上)を満たす喫煙室を設置(改修も含む)すること—としている。なお、交付対象となるには、工事の着工前に受動喫煙防止対策助成金交付申請書を所轄都道府県労働局長に提出し、あらかじめ交付決定を受ける必要がある。

同省は積極的な制度の利用を促進し、平成25年策定の第12次労働災害防止計画にある「平成29年度までに受動喫煙を受けている労働者の割合を15%以下とする」という目標の達成を目指すとしている。

問合せや申請書等の提出先は都道府県労働局労働基準部健康安全課(または健康課)まで。

第16回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介

優秀賞

四万温泉協会 地域づくり委員会

空き店舗を使って集客
「街角博物館 美遊時庵まるたか」

四万温泉協会(群馬県中之条町)の地域づくり委員会は平成24年12月に四万温泉の歴史や自然を紹介する手作りの街角博物館「四万美遊時庵(みゅーじあん)まるたか」と陶芸体験工房「無限大」を相次いでオープンさせた。ともに商店街の空き店舗を活用したもので、「お客様に楽しんでもらい、四万温泉に親しみを持ってもらいたい」という願いを込めたものだ。「最小限の立ち上げ資金」、「すぐに撤収が可能」、「利益を得ない」、「無人で運営が可能」という条件での開店となった。

明治から昭和に撮影された四万温泉のモノクロ写真等の展示や木の切り株で作った椅子などが温かみのある雰囲気を醸し出している。それに加えて、旅館と商店の若女将が製作に携わり、手描きのイラストと文字をそのまま印刷したという手作りの「湯散歩マップ」が手に入るとあって、人が集まる商店街の新たな観光拠点となった。四万温泉に来られたお客様には温もりを与え、地元の人には元気ある温泉街の復活で、仕事に生きがいを持ってもらえるとあって、無休で開店している。(入場は無料、開館時間は午前8時～午後5時まで)

また、大きな窓と白い壁で明るい印象に生まれ変わった陶芸体験工房は、予約なしで気楽に陶芸が楽しめるスペース。町内で陶芸教室を開いている水野正子さんの「温泉街の活性化になれば」との協力もあって楽しい陶芸体験が始まった。湯飲みや皿など形作った後、水野さんが焼成。完成した作品は約1カ月後に宅配で手元に届けられるという楽しさいっぱいの工房である。



趣があり昭和レトロな雰囲気が漂う
文房具店を改装した



館内の様子

優秀賞

富士レークホテル

ユニバーサルサービスの継続的取組～深化と新展開
内閣府全国表彰を経て『バリアフリー(BF)深化&小さい
お子様連れのお客様(ママ&ベビー)新展開』

富士レークホテルでは、平成11年にユニバーサルデザイン(以下「UD」)対応客室1室を整備して以来、現在では23室まで増室。施設のフルフラット化や手すりの設置はもちろん、平成20年にはUD対応客室への温泉引湯展望風呂を完備するに至った。

また、お客さまとの事前のやりとりによる「料理のUD」にも試行錯誤しながら対応している。UD食としては「通常食」、「一口大」、「きざみ食」、「極きざみ食」、「ペースト食」、そして「お粥」などに対応している。

このようなUD対応が内閣府より評価され、平成23年には「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰“優良賞”」を受賞したが、更なるUDの改善を継続していくため、現在も手を休めることなく様々な方策を実施している。それらは、平成24年に行った、①音声ガイド付テレビの設置、客室備品への点字シールの貼付け、足裏感覚で識別可能となるための床素材の変更といった「視覚障害対応」②乳幼児向け離乳食対応、子ども向けDVDの貸出し、調乳ポット等備品の無料貸出などの「小さな子ども連れ・マタニティーのお客さまへの対応」③UD客室稼働率や売上推移等をデータ化し、分析・対策することによって、ホテル全体の改善をも目指す「UD改善の継続」などがその一環となっている。

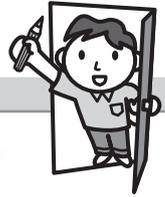
また、UD備品の貸出状況を日々ノートに記録するなど、改善を重ねていくための方策を社内化することにより、更なる深化を図りたいと考えている。



ホームページには各部屋の
詳細が丁寧に掲載さ
れている



小さいお子様連れのお
客さまに対応した無
料貸出備品



全旅連青年部委員会活動報告



今回の委員会活動報告は塚島英太委員長(担当副部長宮澤知晴)率いる宿未来プロジェクト委員会が日本学生観光連盟(学観連)の皆様と取り組んだ事業を紹介します。

委員会では温故知新『継承から伝承、そして更なる進化を!宿泊業界をもっともっと元気に!』をテーマに、先人達の教えを継承・伝承すると共に先人の知恵を借り、過去から学びそれを現代に生かす、そして更なる進化を遂げる事が重要であると考え日々頑張っています。

宿未来プロジェクト委員会では、衰退していく旅館業界を今一度発展させ、日本の素晴らしい文化を後世に伝えるため、学観連との共同インターシップ事業「若旦那・若女将密着体験プロジェクト」を関東信越地域の青年部8軒の受け入れ施設に協力して頂き8月24日より2泊3日で開催しました。

このプロジェクトでは、旅館で実際に働くことによって『気づく』旅館の魅力を伝えられるよう学生は若旦那・若女将に密着し、またスタッフとして実際に働き、旅館の魅力や今後の課題に向き合いました。

プロジェクト終了後、学生には受け入れ側の施設に対するプランを作成して頂き、実際に働いたお宿で『売れるプランはこれだ。』とか『ここが魅力だ』と実際に働いた旅館の生の声をプランにして頂いた。事後報告会では学生はプランを発表し、受け入れた施設にも参加して頂き、受け入れ施設が優秀だと感じたプランは各宿泊予約サイトで今後販売する予定です。

世界に類をみない、この特殊な「旅館」という日本の文化を守るためには今後若い力が必要不可欠であります。今後の課題としては、受け入れ施設を更に増やし、これからの日本を盛り上げていく一人でも多くの学生に参加して頂き旅館の魅力を伝えることと考えます。そして日本の文化を守るためにも今後更にこの事業を発展させなければならないと考えます。

編集後記

文化を継承し愛情を持ってそれを変えて行く事は大変な勇気が必要だと思えます。ですが、守る事も変える事も、すべてお客様や社員の皆様の為とするなら、それも当然の使命だと委員会事業を通して感じました。是非とも今後の事業にも期待しております。宿未来プロジェクト委員会の皆様取材にご協力ありがとうございました。



総務・広報委員会 師岡 哲也

災害対策は優先順位を決める事から始まる

災害が発生すると同時に「何をすればよいのか・・・？」と悩まれる経営者も多いと思う。これは災害の優先順位が組織内で決まっていなかった事を意味している。被災時にやらなくてはならないことは多い。「お客様の誘導と安全確保」「備蓄品の配布」「行政からの問い合わせや避難所としての協力」「従業員の安否確認」・・・多岐に亘る役目に振り回されて“バタバタしていたら終わった”“本当に災難だった”と嘆く経験は東日本大震災や今年猛威を奮った台風18号でも記憶に新しい。では、その時に「何が最優先だったのか？」と問われて即答できる経営者は少ない。道徳心や社会的役割から考えればお客様或いは地域社会の安全が最優先と考えるかもしれないが、災害時に最優先させるのは「自分の安全」なのである。

最近の防災用語で「自助」と言う単語を頻繁に見かけるようになったが、そもそも「自助」とは何なのか？災害時の考え方であるなら、具体的で明確である必要がある。また、「減災」とは何をすることを意味しているのだろうか？

「自助」とは“自らの安全を最優先とすること。また、その能力を自助能力”と私は言っている。災害が発生した場合、私たちは平時（日常的状態）と有事のモラルを履き違えてしまう。

例えば、川に溺れる人を発見した時に、救助に関する知識も訓練も受けていない人が飛び込んで助ける事を救助とは言わない。救助のエキスパートであるレスキュー隊員は「自らの安全が確保される状態での救助を行う＝セルフ・レスキュー・ファースト」である。レスキュー隊員は浮き輪を投げることや川の先にロープを張って捕まらせる事を考える。この考え方に習って、災害が発生した場合に最優先に取るべき行動を検討すれば「自分の安全が最優先」と気づかれるだろう。

平時に「自分が最優先」ではあまりにも身勝手な感じを受けるが、有事は日常が一変した世界であり、一人一人が生き残ることに全力を掲げなければ被害は拡大してしまう。また、自分を救えない人が他人を救えるとも到底思えない。人を助ける人になるのなら、まずは自分の安全が確保できることが前提条件であることを忘れてはならない。

また、減災とは「被害を減らすこと＝被害1を2にしない事」である。前述の通り、直感的行動や衝動での救助は救助とならず、被害者を増やすことになってしまう。減災の基礎も自助から始まるのである。

但し、自助を隠れ蓑にするのではなく「自助」から「共助」に移行する為のステップと考えることも忘れないで頂きたい。経営者自らが「自助」できる。従業員が「自助」できる。と能力を拡大できれば、施設に滞在されるお客様を助けられる→周辺施設利用者やその他の観光客も助けられると共助（助ける側になる）の幅も確実に増えていくのである。その考えを持たずに「災害が発生した

から周辺の人を受け入れる」では、定員オーバーの船舶同様沈むのを待つばかりとなろう。東日本大震災から2年半が過ぎ、若干風化して来たように思える今だからこそ、災害対策の本来あるべき姿を提唱する必要があると切に感じる次第である。

株式会社ZOAS 代表取締役社長 浅野竜一

弊社は、陸上の民間企業です。

また、2007年1月に発生した「アルジェリアにおける邦人殺傷事件」後に官邸に設置された「在外法人及び海外企業の保護の在り方等に関する有識者懇談会」でオブザーバーを務め、日本初の官民合同セミナーを提言した企業。現在も、政府の災害対策を含む危機管理体制への助言・情報提供を実施。



渋谷区の市街地で実施した 屋外避難シュミレーション風景



親子参加型防災教室で放射性物質から身を守る防護服作製風景



陸上自衛隊海外派遣部隊教育風景

民間市場では都内有数の不動産会社を始めとする日本企業及び外資系金融業の危機管理体制構築維持を請負い、2012年から博報堂やNPOシブヤ大学と協力の下「Project72」（自助能力教育及び訓練の提供）を開始。東京都や北九州市などで「宿泊型避難シュミレーション訓練」を実施しています。

株式会社ZOAS 電話：03-6869-7278

東京都港区虎ノ門4-1-21 フキデ第二ビル3階

緊急携帯食：災害発生から最長72時間を生き延びるために最低必要な食料をコンパクトにまとめてあります。災害時こそ暖かくて美味しい食事を提供したい思いから開発されました。いざというときに、すぐに持ち出すことが可能です。価格は3,900円（税込）。



緊急携帯食

【商品お問い合わせ】株式会社あしがら金太郎商会
TEL：0465-43-7829 FAX：0465-73-8199
<http://www.ashigara-kintaro.co.jp/>

全旅連関係会議開催

[10月]

- 1日(火)
- 全旅連ネット対策・広報委員会
- 3日(木)
- 「働き方・休み方改善ハンドブックの開発・普及事業(宿泊業)」検討委員会
- 8日(火)～9日(水)
- 全旅連女性経営者の会(JKK)定例会議
於:勤労者福祉センター(長野県上田市)
- 15日(火)
- 全旅連NHK受信料対策委員会・片山さつき議員との意見交換会
- 全旅連青年部常任理事会 他
於:京都府旅館会館(京都府京都市)
- 16日(水)
- 楽天トラベル(株)との協議会
- 22日(火)
- 都道府県組合事務担当者研修会
於:都道府県会館(東京都千代田区)
- 24日(木)～25日(金)
- 第2回コンシェルジュ読本作成委員会現地調査
於:富士レークホテル(山梨県河口湖温泉)
- 25日(金)
- 生活衛生功労者表彰式典
於:ホテルニューオータニ(東京都千代田区)
- 30日(水)
- 全旅連税制委員会

訃報

埼玉県ホテル旅館生活衛生同業組合 理事長 山口賢一様におかれましては、平成25年10月9日ご逝去されました(享年76歳)。同氏は長年に亘り組合活動に従事され、業界の発展に寄与されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせいたします。

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

被りを気にする

おいしい料理って一言で言っても追及するには奥が深くなかなか難しいですね。でも、いろいろなかたちの料理をいただいて「簡単にできるのになぜこうなるの?」って思うことがあります。それは「三つの被り(かぶり)を気にしてますか?」ということです。

一つ目は「素材」の被り。前菜にもお造りにも茶碗蒸しにも天ぷらにも海老。こんな海老尽くしはご免こうむりたいですね。

二つ目は「味」の被り。これを解消する簡単な方法はつけだれを工夫すること。刺身や肉に対し醤油や塩だけでは淋しすぎるし飽きてしまいます。醤油、ぽんず、梅ドレッシング、香草のドレッシング、ごまだれ、はちみつ、メイプルシロップ、粒マスタード、岩塩、茶塩、カレー塩、ごま塩等を数種類準備し、薬味もネギ、生姜、茗荷、大葉、大根おろし、玉ねぎおろし、あかかぶおろし、パプリカおろし等を色とりどりにそろえてみてはいかがでしょうか。実はこのことが、三つ目の「色」の被りの解消にもつながります。ただし、「醤油、ニンニク醤油、ぽんず、塩」なんて茶色尽くしシヨツパイ尽くしにならないように注意しましょう。

みんなで考えればもっといいアイデアが出てくるはず。さあ、今すぐ厨房でワイワイ会議を開いてみては!

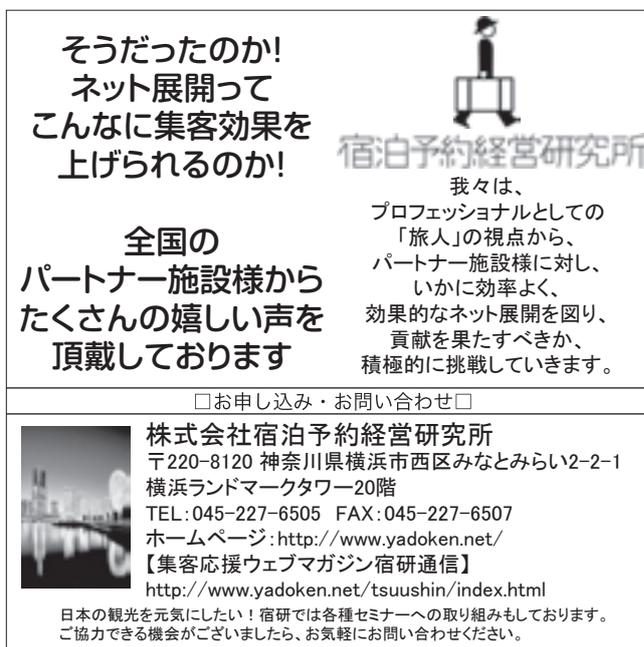
質問・相談は
watanabe@yadonet.ne.jp 携帯(090-3322-7208)
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。



眠りはさらに
「おもてなし」の中心へ

丸八真綿グループ
株式会社 マルハチプロ

本社 〒432-8508 静岡県浜松市南区小沢渡町1533
☎ 0120-4649-08 【丸八グループお客様相談室】



そうだったのか!
ネット展開って
こんなに集客効果を
上げられるのか!

全国の
パートナー施設様から
たくさんの嬉しい声を
頂戴しております

宿泊予約経営研究所

我々は、
プロフェッショナルとしての
「旅人」の視点から、
パートナー施設様に対し、
いかに効率よく、
効果的なネット展開を図り、
貢献を果たすべきか、
積極的に挑戦していきます。

☐お申し込み・お問い合わせ☐

株式会社宿泊予約経営研究所
〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー20階
TEL: 045-227-6505 FAX: 045-227-6507
ホームページ: <http://www.yadoken.net/>
【集客応援ウェブマガジン宿研通信】
<http://www.yadoken.net/tsuushin/index.html>

日本の観光を元気にしたい! 宿研では各種セミナーへの取り組みもしております。ご協力できる機会がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

全旅連協定商社会名簿

システム・シャイン・サービス(株)	ジュタン及び椅子のメンテナンス(シミ・汚れにSUPER 3S)	〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-8-10 加藤 卓	TEL 03-5996-5407 FAX 03-5996-5435
(株)トランスネット	予約サイト一元管理ツール「らくじゃん」	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F ホテル旅館事業部 マネージャー 土方 昇	TEL 03-6681-3140 FAX 03-6686-1039
ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒107-8585 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館7F マーケティング部法人営業課 荒井俊之	TEL 03-3475-8865 FAX 03-3475-8824
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒103-0027 東京都中央区日本橋3-5-19 広域法人開発部 営業第二課 日浅 勇爾	TEL 03-5202-6605 FAX 03-5202-6669
丸八真綿グループ(株) マルハチプロ	丸八真綿製品寝具製造・販売他	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-8-12 8階 営業部 辻 雄太	TEL 045-471-0818 FAX 045-475-0822
サントリーフーズ(株) 【サントリーコーポレートビジネス(株)】	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の設置	(東日本担当)〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附MTビル 東部広域自販機開発部 部長代理 大沼 潔 (西日本担当)〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18階 西部支社 法人営業1部部長 田中芳郎	TEL 03-3479-1528 FAX 03-3479-2104 TEL 06-6346-1164 FAX 06-6345-5768
(株)リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、じゃらん.net等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 大野雅矢	TEL 03-6835-6405 FAX 03-6834-8629
(株)セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル 販売企画部 全旅連担当課長 田崎裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-5381-7832
(株)第一興商	カラオケ機器(DAM)販売、音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 エルター-事業開発部 営業課 牧野 茂	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0962
大阪ガス(株)	ガスの製造、供給及び販売、ガス機器の販売	〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4-1-2 エネルギ-開発部 営業開発チーム 課長 真貝耕一郎	TEL 06-6205-4674 FAX 06-6202-2190
(株)コジマ	家電製品全般	〒171-0033 東京都豊島区高田3-23-23 高田本部ビル8F 営業本部 法人営業部 主任 古内隆宏	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
(株)エクシング	カラオケ機器販売(JOYSOUND、UGA)音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 直販営業部法人開発G 担当部長 田中茂孝	TEL 0120-997-173 FAX 03-6848-8186
(株)まごのてライフサービス	空調機の高圧洗浄及びクリーニング	〒184-0013 東京都小金井市前原町5-1-14 北多摩建設会館1F 専務取締役 栗野和司	TEL 042-388-5123 FAX 042-316-1427
東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル12F 旅行業営業部 営業第一課 主任 渡邊典昭	TEL 03-5299-3521 FAX 03-5299-3551
AIU損害保険株式会社	集団扱い企業財産保険	〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-1-1 センチュリープレイス山形 山形支店 支店長 菅原 勲	TEL 023-633-8282 FAX 023-633-8353
キャンシステム(株)	音楽・映像放送事業、防犯カメラ事業等	〒167-0032 東京都杉並区天沼2-3-1 事業担当本部 企画部 次長 堀池元洋	TEL 03-5397-3333 FAX 03-5397-9446
楽天トラベル(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-9 楽天タワー2号館 国内営業部 吉崎弘記	TEL 050-5817-3366 FAX 03-6670-5237
(株)宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
(株)ユーコム	ホテル・旅館専用宿泊管理業務支援システム	〒700-0901 岡山県岡山市北区本町10-17 本町第一ビル 坪田 達摩	TEL 086-234-7343 FAX 086-234-7333
(株)シーナッツ	予約・販売管理システムTL-リンカーン	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-3 ルオーゴザ留8F システムソリューション本部 営業グループ 田代一義	TEL 03-5404-6702 FAX 03-5404-6706
(株)ワコム	ペンタブレット端末を活用した宿帳の電子化	〒160-6131 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー31F タブレット営業本部 ソリューション営業部 法人営業Gr 中達 隆司	TEL 03-5337-6706 FAX 03-5337-6514
(株)アルバン	自動麻雀卓・イス・サイドテーブル等	〒164-0003 東京都中野区東中野2-1-2 営業部 須浦 正裕	TEL 03-3227-1190 FAX 03-3227-1150
三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 東京支社 業務部参事 倉場和紀	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
(株)ウインターハルター・ジャパン	食器洗浄機販売、メンテナンス等	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-6-12 新大阪駅前末広ビル1F 営業部 西日本チーム 末永 充	TEL 06-6886-5537 FAX 06-6886-6658
(有)プラス・ワン	除菌・消臭用品、レジオネラ菌除去等	〒700-0975 岡山県岡山市北区今8丁目14-28 代表取締役 田島浩太郎	TEL 086-245-3021 FAX 086-245-3071
ラナビイク(株)	照明設備等メンテナンス	〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-15-6F 常務取締役 管理本部長 美高津敬二	TEL 03-5425-4620 FAX 03-5425-4621

(平成25年10月1日)

『人にやさしい、環境にやさしい』
プラス・ワンの天然成分100%

消臭・除菌

快適空間づくり

除菌・消臭用品『カルサイン』

塩素では解決しにくいバイオフィルム内のレジオネラ菌等を除菌します。泉質を変えずに低コストでより快適安全に温泉本来の癒し効果を維持することができます。塩素臭も除去します。

商品のお問合せ
PLUS ONE 有限会社 プラス・ワン
 〒700-0975
 岡山県岡山市北区今8丁目14-28 HP <http://www.plusone-e.com>
 TEL:086-245-3021(代) FAX:086-245-3071 E-mail info@plusone-e.com

宿泊施設の、宿泊施設による、宿泊施設のための

予約管理システム

TL-Lincoln

TL-リンカーン

旅行会社とネット販売を一元管理!

旅行会社とネット販売の
予約・販売・残室管理を1つに集約

ASP化により
複数の担当者の同時利用が可能

PMSへの入力・修正の負荷を、
カスタマイズ機能により大幅に削減

統計実績データをボタン1つで
集計・分析、営業力が強化

☎ ユーザー支援強化中!!

■ユーザー様のお声をもとに、毎月機能増強を行っています!
■エリア単位で勉強会を開催、操作方法や活用事例等をお届けします!

お申込み・お問合せは

〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-3
電話: 03-5404-6701(代) FAX: 03-5404-6706
<http://www.seanuts.co.jp/> シーナッツ で (検索)